

●要望書の内容

回覧文書の回覧方法について

コロナ禍のなか、回覧文書をコピーして個別配布したらどうでしょうか。

但し、次のような文書は従来とおりで良いと考えます。

1. 枚数が3枚以上の文書（コピー費がかさむため）
2. 署名が必要な文書

●回答

要望書のご提出ありがとうございます。コロナ禍で回覧による感染に対するご心配をお持ちの方は多数いらっしゃるかと思います。

本来、回覧は主として自治会情報をお知らせする仕組みではありますが単に情報をお知らせする仕組みだけではなく、ご近状さん同士の絆を結ぶ大切なツールとなっていることも事実です。回覧を回す際にご近所さん同士が挨拶を交わす機会こそがもう一つの大切な価値であると思います。

しかしながら自治会役員の負担として回覧に対する負担が常に挙げられ、できるだけ回覧に関する負担を軽減するための工夫を試行しているところです。今年度は小中学校に関する回覧は学校側と協議をして多くの方が利用しているスマートフォンでいつでも閲覧できる Web 回覧に切り替えております。また、西自治会のホームページには回覧でお回しするより早く主だった回覧情報をホームページに掲載しており、いつでもスマートフォンで閲覧できるようになっております。しかしながら全ての回覧を理屈上は Web 回覧に切り替えることは可能ですがやはり回覧を少なくすることはできずともなくすことはできないと考えております。

また、できるだけ回覧文書をコピーして配布して欲しいとのご要望ですが回覧必要数は現時点で一つの情報に対してほぼ100セットです。回覧内容の異なる資料を発信者が100セットコピーしてホッチキスで止めて各ブロック長に必要セットを届け、ブロック長は各班のへ必要部数を配達しております。そして班長は回覧の用紙を付けて各戸に回覧を回します。これだけの作業でもかなりの負担がありこれを仮に3枚以下の回覧に限定しても920世帯分のコピーとなると作業量は9倍となり一気に負担が増加することになります。

コロナ禍での回覧方法についてのご要望については理解できますが手から感染することはありません。手で目や口を触ることでの感染リスクはありますので回覧に限らず外部からの物品に触った際はこまめな手の消毒をして何とかこのコロナ禍を乗り切ってもらえないでしょうか。